

3薬学第 25 号
令和 3年8月17日

各関係機関長 様

公立大学法人 名古屋市立大学 大学院薬学研究科長
松永 民秀 (公印省略)

遺伝情報学分野助教の公募について (依頼)

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当研究科で遺伝情報学分野の助教の公募選考を行うことになりました。つきましては、貴機関 (学部、大学院、研究機関) および関係方面に適任な候補者がおられましたら、下記の要領でご応募頂きたく、周知方お願い申し上げます。

敬具

記

専門分野 : 生化学・分子生物学・細胞生物学を含む生命科学

担当科目 : 遺伝情報学特論の講義 (大学院)、生物薬品化学 (生化学)、機能形態学、臨床薬学の講義の一部および生物系実習 (学部) 他

応募資格 : 博士の学位と、遺伝子発現制御領域で一定の研究業績を有し、薬学教育と研究に積極的に取り組む者。薬剤師免許を有していることが望ましい。

着任時期 : 令和3年11月1日以降のできるだけ早い時期

提出書類 : 本研究科所定の書式による以下の応募書類 (1) ~ (5) の印刷物一部を郵送し、それらの電子ファイルを下記メールアドレス宛に (パスワードを付けること) 提出してください。パスワードは別メールで送ってください。なお、電子ファイルの容量が 10 MB を超える場合は受信できないため、必ず圧縮して送信してください。

* メールタイトルに「名古屋市立大学大学院薬学研究科遺伝情報学助教応募」と記載してください。

* 指定様式は薬学研究科ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/phar/> からダウンロード可

- (1) 履歴書 (指定様式)
- (2) 業績目録 (指定様式) (取得された特許等の知的財産も含まれます。省庁、財団、企業などから代表者として受領した (受領が内定しているものを含める) 研究助成 (委託研究費を含む) の研究課題と助成金額 (直接経費と間接経費) も併せてご記入下さい)
- (3) 主要な公表論文 3 編程度の別刷りまたはコピー
- (4) 主な業績の要約 (教育・研究) と今後の抱負 (A4 用紙 3 枚程度)。なお、ご自身の研究と教育の抱負に加えて、薬学教育全般にわたる展望もお書き下さい。

(5) 推薦状（自薦も可。ただし、問い合わせのできる方の連絡先を記載のこと）

応募締切：令和3年9月3日（金）（郵便書留にて必着のこと）

選考方法：書類選考後、必要に応じてインターネットでの面接、プレゼンテーションをお願いする場合があります。

名古屋市立大学では男女共同参画を推進しており、業績と能力が同等であるならば、女性を積極的に採用します。

書類提出先：郵送先住所

〒467-8603 名古屋市瑞穂区田辺通 3-1

名古屋市立大学大学院薬学研究科長 松永 民秀

電子ファイル提出先：jimusitu@phar.nagoya-cu.ac.jp

（封筒に、「遺伝情報学分野助教応募書類在中」と朱書して下さい）

電話（事務室） 052-836-3402

FAX（同上） 052-834-9309

ホームページ <https://www.nagoya-cu.ac.jp/phar/>

その他

- 提出された応募書類により取得した情報は、当該選考目的以外には使用しません。提出された応募書類は、原則として返却しません（選考終了後に、適正に廃棄します）。なお、応募書類等の返却を希望される場合は、返却希望の旨を明記の上、返信切手を貼った封筒を同封して下さい。